

福山城改修の進捗状況は

問 福山市発展の礎は、1619年（元和5年）に初代福山藩主の水野勝成公が入封し、1622年に野上村常興寺山に福山城を築いたことに始まった。築城400年に向けて城郭の改修に取り組んでいるが、進捗状況と今後のスケジュールは。

答 現在、福山城天守や月見櫓、湯殿、鏡櫓の耐震改修を行っている。加えて、秋からは「全国唯一」とされる天守北側の鉄板張りなど

の復元工事を行うことにしており、来年3月末には往時の姿をご覧いただけるものと考えている。また、築城400年記念日となる来年8月28日には、福山城博物館の全面リニューアルオープンを予定している。



改修工事の始まった福山城

福山駅周辺の再生は

問 駅周辺の再生に当たり、どのような北口と南口をめざすのか。具体的なイメージは。

答 福山駅周辺は、備後圏域の玄関口である。経済の好循環を生むハブ機能の役割が求められると同時に、ウォークアブルな空間に転換していく必要がある。

駅の北側では、段差の解消や芝生化を行う駅北口スクエア広場整備のほか、周辺道路の美装化や電線類地中化を行い、福山城公園を

はじめとした文化ゾーンへと人々をいざなう公共空間の形成に取り組む。

駅の南側は、交通結節点機能と人々が交流するための広場機能を融合させ、良質な民間投資を呼び込める魅力とにぎわいのある空間をめざす。

具体は、デザイン会議や官民で構成する協議会での議論を経て、市民の意見も伺いながら、基本方針の中で明らかにしていく。

デジタル化の推進に向けて

問 ①マイナンバーカードの普及状況と今後の取り組みは。②行政のデジタル化に向けた本市の構想は。③光ファイバ網の整備スケジュールは。④GIGAスクールへの教育長の思いは。

答 ①2月1日現在の本市の交付率は約18・1%である。今後は既に予約のある出張申請受け付けに対応し、一層の普及につなげる。

②（仮称）ICT推進計画を策定中で、市民が利便性を実感できる行政をめざし、オンライン手続きやAI案内サービスの拡充、公民館へのタブレット端末の整備などに取り組むこととしている。③未整備地域の整備に順次着手している。新市町金丸地域は今年8月初旬、山野町など7地域は来年2月下旬の完了予定である。④生活におけるデジタル化が大きく進む中、日常的なICTの活用を前提にリアルとデジタルを組み合わせながら、「学びが面白い」の深化に取り組んでいく。

公明党



塚本 裕三

新型コロナウイルスのワクチン接種の取り組みは

2021年度予算は

問 財政指標の状況は。

答 歳入では市税が新型コロナウイルスの影響で大幅に減少する。歳出で

問 ワクチン接種の手続きは。 **答** 今回のワクチンは、原則、住民票所在地で接種を受けることになり、市から送付する接種券が届いた後、会場と日程を電話か専用サイトから予約する。1回目の接種の後、一定期間を空けて2回目の接種を受けることになる。

は公債費が市債の発行抑制などで減少したが、扶助費など社会保障関係費は増加している。その結果経常収支比率は84・8%、実質公債費比率は繰り上げ償還等の取り組みにより1・2%となっている。

※ウォークアブルな空間：居心地が良く歩きたくなる空間